

単元について

○ 単元観

本単元は、小学校学習指導要領国語第1学年及び第2学年「C読むこと」の指導事項「ウ 場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」「カ 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。」の内容を受けて設定したものである。ここでは、「C読むこと」の言語活動例(2)「オ 読んだ本について、好きなところを紹介すること。」を具体化し、場面の様子について、登場人物の行動や会話に着目して、登場人物の思いを広げながら読み、繰り返しのおもしろさを見付けて、友達に紹介することをねらいとする。

本単元では、教材文として「サラダで げんき」を、並行読書作品として「さるじぞう」「すいかのたね」「だって だってのおばあさん」「はじめは や!」を扱う。教材文「サラダで げんき」は、病気のお母さんを元気にするためにサラダを作ろうとするりっちゃんの前に、動物たちが次々登場し、サラダに入れる材料とその効果を教えるというお話である。動物たちの登場によって場面が分かれ、同じようなやりとりが繰り返されている。繰り返し登場する動物たちが、「サラダに入れると良い」と提案する材料や理由には、動物たちの特徴がよく表れている。本単元は、昨年度開発された単元であるが、「さるじぞう」「すいかのたね」「だって だってのおばあさん」「はじめは や!」の4作品については、「サラダで げんき」で繰り返しとおもしろさの関連性をしっかり押さえ、身に付けた力をもとに、並行読書4作品に移ることが不可欠であることが明らかとなった。その上で、同一作品を読んだグループで読み取ったことを交流し、自分の紹介内容を確認なものとするために扱う。これらの4作品は、「サラダで げんき」と同様、場面や言葉などの繰り返しが書かれており、本単元のねらいに迫りながら1年生の児童が、楽しく読める作品である。

○ 児童観

本学級の児童は、これまでに教材文「とん こと とん」や「おおきなかぶ」の学習で、登場人物の行動や会話文を中心に場面の様子を想像しながら読む学習をしてきている。また、登場人物の行動の様子を読み取ったり登場人物の気持ちを想像したことを話し合ったりしてきた。役割を決めて動作化して読むことを好んで行う児童は多いが、場面の様子について根拠となる行動や会話に着目し、理由を考えながら想像して読むことはできにくい児童がいる。しかし、ファミリー読書の取組においては、月に1回以上 家族と一緒に読書をする児童は94%で読後の感想を家族と交流している。

○ 指導観

指導に当たっては、導入時に、既習の「おおきなかぶ」「かいがら」と教材文「サラダで げんき」とのお話のおもしろさの共通点を考えさせ、繰り返しとおもしろさの関連性に気付かせる。次に、繰り返しのおもしろさを見付けて、とっておきのお話を紹介するという課題を確認する。そして、教師が「おおきな かぶ」のモデルトークを示すことにより、お話の紹介の場での単元のゴールイメージを具体的に理解させる。お話の紹介の場に向けては、繰り返しのおもしろさを児童が見付けていくために、繰り返しのあるお話のコーナーを教室内に設置し、朝の読書タイムや家庭学習など

で並行読書をさせる。また、「さるじぞう」「すいかのたね」「だって だってのおばあさん」「はじめは や！」の4作品については、共通の読書作品として扱う。

情報の収集の段階では、場面の様子について登場人物の行動や会話に着目して、想像を広げながら読み、繰り返しのお話のおもしろさについて考えていく。まず、りっちゃんがサラダを作ろうとした理由と、おかあさんは最後どうなったかという物語の大体について読む。次に、おかあさんが食べてたちまち元気になったサラダとは、どんなものか考えさせる。そして、動物が登場し、サラダに入れるとよいと薦めた食べ物、薦めた理由には動物の特徴が繰り返されていることについてマトリックス表をもとに気付かせていく。マトリックス表にまとめる際には、動物達がしたことを捉えるために、薦めた食べ物と薦めた理由が書かれている叙述に線を引かせていく。最後に、アフリカぞうが登場する場面では、アフリカぞうの登場の仕方やそれまでの動物と違うアフリカぞうの言動を捉えることでアフリカぞうの役割やその場面の様子について想像を広げながら読んでいく。さらに、昨年度、開発した単元であるが、「本単元のポイントである、繰り返しと最後の場面でのどんでん返しのおもしろさが児童に分かりにくかった。」という指摘をもとに、教材文で学んだことを速やかに並行読書作品に生かすために、本時の流れを変更する。

整理・分析の段階では、「さるじぞう」「すいかのたね」「だって だってのおばあさん」「はじめは や！」の4作品から、はじめに読む作品として選んだ作品について、紹介内容をまとめていく。そして、同一作品を選んだグループで互いに読み取ったことを交流していく。読み取ったことを友達と交流することを通して、自分の読みを確かなものとし紹介内容を再構成していく。

まとめ・創造・表現の段階では、紹介内容を再構成したことを生活班の中で交流していく。友達の紹介内容の感想を伝え合い、紹介することの楽しさを感じられるようにするとともに、未読の3作品への意欲付けの場とする。その後、単元のゴールである並行読書作品の中から、とっておきのお話を選び、紹介内容をまとめてお話の紹介の場で交流する。繰り返しのおもしろさに着目した読み方を身に付けるとともに、紹介することを通して、本を読みたいという気持ちを共有し、自らの読書活動を豊かにしていけるようにする。

振り返りの段階では、単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点で自らの学びや学び方を振り返っていく。さらに、学習をきっかけに自分の読書についても振り返るようにする。

単元の目標

- 繰り返しのお話のおもしろさを見付けてお話を読もうとしている。 【関心・意欲・態度】
- 場面の様子について登場人物の行動や会話に着目して、想像を広げながら読むことができる。 【読むこと ウ】
- 楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むことができる。 【読むこと カ】
- 文の中における主語と述語の関係に注意することができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ（カ）】

単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
【言語活動】 繰り返しのあるおもしろいお話を見付けて、学級の友だちに紹介する。		
繰り返しのお話のおもしろさを見付けて、お話を読もうとしている。	場面の様子について登場人物の行動や会話に着目して、登場人物の思いを広げながら読んでいる。 繰り返しのおもしろさを見付けて読み、紹介したい本を選んでいる。	文の中における主語と述語の関係について理解している。

単元で育成したい資質・能力

	A	B
【主体性】	・繰り返しのお話のおもしろさを見付けて、登場人物の行動や場面の展開と結び付けて読んでいる。	・繰り返しのお話のおもしろさを見付けて読んでいる。
【思考力】	・場面の様子について、登場人物の行動や会話に着目して場面と場面を関連付けて登場人物の思いを広げながら読んでいる。	・場面の様子について、登場人物の行動や会話に着目して登場人物の思いを広げながら読んでいる。
【自己理解】	・自分の読書活動について振り返り、繰り返しのお話のおもしろさを見付けて読書することを読書活動に生かしている。	・繰り返しのお話のおもしろさを見付けて読書をしている。

指導と評価の計画

全 15 時間

次	時	学習内容	評 価				
			関	読	言	評価規準	評価方法
一	1	<p>課題の設定（２）</p> <p>○既習の「おおきなかぶ」「かいがら」を想起し、「サラダでげんき」との共通点を考え、繰り返しとおもしろさの関連に気付き、繰り返しのあるおもしろいお話を紹介するという学習課題を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習の学習を想起し、「サラダで げんき」の範読を聞き、既習のお話との共通点を考え、繰り返しとおもしろさの関連を考える。 繰り返しのあるおもしろいお話を見付けて、学級の友達に紹介するという学習課題を確認する。 並行読書作品について知り、「さるじぞう」「すいかのたね」「だって だってのおばあさん」「はじめは や！」の４冊の中から、はじめに読みたいお話をグループの中で選ぶ。 教師による「おおきなかぶ」のモデルトークを知る。 	○			<ul style="list-style-type: none"> 繰り返しのお話のおもしろさを見つけ、紹介するという学習について関心を持ち、既習と教材文との共通点を考えようとしている。 	発言 行動観察 ノート
	2	<p>○ゴールの見通しをもち、学習の計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 繰り返しのあるおもしろいお話を紹介するためには、どんなことが必要かを考える。 ゴールの見通しをもち、学習の計画を立てる。 	○			<ul style="list-style-type: none"> 繰り返しのお話のおもしろさを紹介するために必要な内容を考えようとしている。 	発言 ノート
二	3	<p>情報の収集（４）</p> <p>○登場人物や物語の設定（物語のはじめと終わり）を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> りっちゃんが、サラダを作ろうと考えた理由と、おかあさんは、最後どうなったかを読む。 		○		<ul style="list-style-type: none"> りっちゃんの行動や会話に着目して、りっちゃんがサラダを作ろうと考えた理由を考えている。 	発言 ノート
二	4	<p>○サラダには、何が入っているのかまとめ、お話のおもしろさについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場する動物達が薦めた材料は、どんなものかを見付ける。 動物の登場する順番の特徴や、動物達が薦めた材料と動物との関係について捉え、お話のおもしろさについて考える。 		○		<ul style="list-style-type: none"> 登場する動物達の行動や会話に着目して、動物達が薦めた材料と動物の関係について捉え、お話のおもしろさについて考えている。 	発言 行動観察 ワークシート
	5	<p>○動物達が薦めた食べ物を食べるとどうなるかをまとめ、お話のおもしろさについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物達が薦めた物を食べるとどうなるのかマトリックス表にまとめ、食べた後の効果と動物との関係について捉え、お話のおもしろさについて考える。 		○		<ul style="list-style-type: none"> 登場する動物達の行動や会話に着目して、食べた後の効果と動物の関係について捉え、お話のおもしろさについて考えている。 	発言 行動観察 ワークシート

繰り返しのある物語の並行読書

	6	<p>○アフリカぞうと他の動物との言動を比較して、アフリカぞうの役割について考え、お話のおもしろさについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アフリカぞうの登場のしかたについて捉え、様子や気持ちを想像する。 ・アフリカぞうが断られてまでしたかったことについて考え、他の動物と比較しながらアフリカぞうの役割を考える。 ・サラダでげんきのおもしろさを紹介する。 <p>【本時】</p>		○	<ul style="list-style-type: none"> ・登場する他の動物達の行動や会話と比較してアフリカぞうの役割を想像しながら読み、お話のおもしろさについて考えている。 	<p>発言 行動観察 ノート</p>
三	7 ・ 8 ・ 9	<p>整理・分析（3）</p> <p>○「さるじぞう」「すいかのたね」「だって だってのおばあさん」「はじめは や！」の同一作品を選んだグループで読み取ったことを交流し、内容を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が見付けた繰り返しのお話のおもしろさを各自でまとめ、同一作品を選んだグループで交流する。 ・交流したことをもとに、自分の考えを深めたり紹介の内容をまとめたりする。 (題名・登場人物・おもしろかったところと、その理由・絵) 	繰り返しのある物語の並行読書	○	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返しのおもしろさを見付け紹介内容を整理している。 	<p>発言 行動観察 ノート</p>
	10	<p>まとめ・創造・表現（5）</p> <p>○繰り返しのあるおもしろいお話（「さるじぞう」「すいかのたね」「だって だってのおばあさん」「はじめは や！」）をグループで交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返しのあるおもしろい場面の絵を示しながら、題名・登場人物・おもしろかったところとその理由についてグループで交流する。 ・友達の話聞き、どのお話が読みたくなかったかを交流し、未読のお話を読む。 		○	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返しのお話のおもしろさを見付けている。 	<p>発言 行動観察 ノート</p>
	11 ・ 12	<p>○並行読書をしてきた繰り返しのあるお話の中から、とっておきのお話を選び、内容をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題名・登場人物・自分が見付けた繰り返しのお話のおもしろかったところと、その理由・絵)についてまとめる。 		○	<ul style="list-style-type: none"> ・文の中における主語と述語の関係について理解している。 	<p>発言 行動観察 ノート</p>
三	13 ・ 14	<p>○並行読書をしてきた繰り返しのあるお話の中から、とっておきのお話を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題名・登場人物・自分が見付けた繰り返しのお話のおもしろかったところと、その理由・絵)について交流する。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返しのおもしろさを見付け紹介したい本を選び紹介している。 	<p>発言 行動観察 ノート</p>	
	15	<p>振り返り（1） 学びのモニタリング</p> <p>○自らの学びや学び方を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の初めに立てた「ゴールの見通し」の視点で（とっておきのおはなしを学級の友達に紹介する。）自らの学びを振り返る。 ・学習をきっかけに、自分の読書活動についてノートや作品をもとに振り返り、読書範囲を広げていく。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・学習を通して自らの学びや学び方を振り返ろうとしている。 	<p>発言 行動観察</p> <p><small>学びのモニタリング</small></p>	

本時の学習

(1) 本時の目標

- 登場する他の動物達の行動や会話と比較してアフリカぞうの役割を想像しながら読み、お話のおもしろさについて考えることができる。

(2) 本時の評価規準

- 登場する他の動物達の行動や会話と比較してアフリカぞうの役割を想像しながら読み、お話のおもしろさについて考えている。

【読む能力】

(3) 本時の学習展開（6時間目／全15時間）

学習活動 ○主な発問 ・予想される児童の反応 □思考の場の工夫	◇指導上の留意事項 ★めざす児童の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への指導の手立て	評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力
1 前時の学習を振り返る。 ○動物達が、サラダに入れるとよいと薦めた食べ物は何でしたか。 2 本時の場面を音読する。 3 学習課題を確認する。 めあて	◇既習掲示をもとに、動物達が薦めた物は、好物で効能は動物の特徴であったことを確認する。 ◇りっちゃんは、サラダが完成していると思っていることも確認する。 ◇アフリカぞうだけは、違っていたことを確認する。	
アフリカぞうと ほかのどうぶつたちと ちがうところをくらべて、おはなしのおもしろさを感じよう。		
<div style="background-color: black; color: white; padding: 5px; text-align: center;"> 本時のゴールの見通し </div>		
A ：場面の様子について、登場人物の行動や会話に着目して場面と場面を関連付けて登場人物の思いを広げながら読んでいる。 B ：場面の様子について、登場人物の行動や会話に着目して登場人物の思いを広げながら読んでいる。		
4 アフリカぞうがやって来た時の様子や気持ちを想像する。 ○アフリカぞうは、どんな様子でやって来ましたか。 5 アフリカぞうと他の動物を比較して役割とお話のおもしろさを考える。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <input type="checkbox"/>思考の場の工夫 比較 他の動物達との行動や会話と比較してアフリカぞうの役割とお話のおもしろさを考える。 </div>	◇アフリカぞうが飛行機で来たことや、「せかせか」の言葉を動作化させて気持ちを想像させる。	

<p>○りっちゃんは、サラダが出来上がっていると思っているのに、アフリカぞうは、どんなことを考えてやって来たのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・味付けをしてサラダをおいしくすることです。 ・自分の力を生かして、サラダを混ぜて仕上げることです。 <p>6 本時のまとめをする。</p> <p>○アフリカぞうが出てくる場面で、おもしろかったところはどこでしたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・りっちゃんに「できあがった。」と言われてもアフリカぞうが、自分で混ぜているところです。 ・アフリカぞうは、サラダに入れるとよいものを教えるだけでなく、自分の鼻を使ってくりんくりんと混ぜて味付けをしたところです。 <p>7 学習を振り返り、次時への課題を知る。</p>	<p>◇アフリカぞうの役割を考えるために、今までのりっちゃんとの言動の違いを捉え、アフリカぞうが断られてまでやりたかったことについて想像させる。</p> <p>◇「鼻でにぎって力強くりんくりん」を音読や動作化させ、アフリカぞうの役割について捉えさせる。</p> <p>◇アフリカぞうと他の動物達との言動を比較することによって、役割の違いをつかませる。</p> <p>◆自分の力では書くことができにくい児童には、話型を提示する。</p> <p>◇単元のゴールを見据えて、「サラダで げんき」のおもしろさとその理由について交流する。</p> <p>◇学習課題を振り返るとともに、次時への学習の見通しをもたせる。</p>	<p>◎登場する他の動物達の行動や会話と比較してアフリカぞうの役割を想像しながら読み、お話のおもしろさについて考えている。</p> <p>[読む能力] (行動観察・ノート)</p>
<p>★めざす児童の姿</p> <p>おもしろかったところは、アフリカぞうは ほかのどうぶつとちがって、じぶんのはなをつかって くりんくりんと混ぜて あじつけをしたところです。</p>		

(4) 板書計画



